

番号	氏名	抱負
261	守本 京平	放射線を利用した検査・治療に従事する者として、近年IT技術の急速な進歩により、医用画像情報・医療情報を利用する場面には目を見張るものがある。中でも医用画像データの利活用が検査精度を高次元に押し上げているとあって過言ではない。そうした背景からも放射線技術学会の運営側として、DICOMの利活用(被ばく管理を含む)の推進や標準化の普及に携わること、放射線技術の向上に寄与したいと考えている。
262	安田 浩司	平成5年に現職場に入職以来、日本放射線技術学会会員として北海道部会学術大会を中心に参加してまいりました。ここ数年、部会専門委員、理事として部会学術大会の企画運営に携わらせていただいております。今後の活動として地方会員の意見や若い会員のさらなる技術向上の場を設けるなど微力ではありますが技術学会のさらなる発展に寄与したく、代議員に立候補いたしました。よろしく願いいたします。
263	梁川 功	
264	梁川 範幸	放射線技術科学を追求する唯一の学会としてその使命は大きい。JSRTがさらなる国際化を推進するには、会員が理解しやすい環境作りと還元するシステムの構築が重要である。会員が会員のためのJSRTであるという認識が重要である。それを本部や地方支部事業の中で深く理解していただくために、代議員として会員の立場に立った建設的な意見を出し、JSRTの発展に寄与したいと思っております。
265	柳田 智	これまで、関東支部理事、本部大会開催委員として会務に協力させていただいてきました。役員を務めさせていただき、学会本部、専門部会、支部の結びつきの重要性を常に意識しております。今後も学会本部、専門部会と協力し、更に地方での多くの事業を行っていかなくてはならないと考えています。経験を生かして代議員として、技術学会の発展、支部の活性化、会員の放射線技術の向上のために寄与してゆきたい所存でおります。
266	谷畑 誠司	この度、平成29・30年度代議員選に立候補させていただきます。今までは東京支部の一役員として地域の学術活動の普及に取り組んで参りましたが、平成27年度より支部執行役員となり、更なる本部学術事業との関わりに力を入れるべく立候補させていただきます。本部代議員に選出された暁には、支部委員の声を大切に日本放射線技術学会学術事業発展に向けてまい進する所存でございます。何卒宜しく願い申し上げます。
267	藪田 和利	放射線治療の情報を、地域の規模の大きくない病院にも届けることを意識して活動してきました。
268	山木 範泰	この度、平成29・30年度代議員に立候補した日本メジフィジックス株式会社の山木範泰です。現在、核医学部会委員を務めさせていただいております。主に核医学を中心とした業務を担っておりますが、これからの画像診断はモダリティ間の垣根を越えて、より強く融合していくことで良質な情報提供がなされると考えています。その一助となり、会員皆様のお役にたてるよう頑張りたいと考えています。よろしく願いいたします。
269	山口 隆義	本学会の目指す放射線技術を通じた社会貢献に加え、学会活動の国際化における取り組みは、今後の発展に特に重要と考えます。私は、自身の様々な国際学会での研究発表に加え、論文投稿に関する知識と経験を活かし、学会のあるべき将来の形を見据えながら、更なる飛躍と発展に向けて努力して参りたいと考えております。
270	山下 栄二郎	現在、様々な分野・業界で国際化が推進されている。我々の技術学会も例外ではなく、むしろ先駆しているように思っている。ただし、国際化は単なる英語で発表や論文をするだけではない。技術学会が目指す方向性は、世界から注目され、多くの発表・投稿をされる学会である。私は、この方向性をさらに強化するために力を尽くしたいと考えている。